

平成 21 年 10 月 28 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
日本ビルファンド投資法人
代表社名 執行役員 阿部 定文
(コード番号 8951)
資産運用会社名
日本ビルファンドマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 西山 晃一
問合せ先 投資本部セネラルマネージャー 秋元康志
(TEL. 03-6259-8681)

資金の借入及び借換に関するお知らせ

本投資法人は、平成 21 年 10 月 22 日付け投資法人役員会において決議致しました資金の借入及び短期借入金の借換を下記の通り決定致しましたのでお知らせいたします。

1. 長期借入金について

(1) 借入の内容

借入先	借入金額	利率	実行予定日	借入・返済方法・ 担保・保証等	返済期日
株式会社りそな銀行	30 億円	1.97000%	平成 21 年 10 月 30 日	無担保・無保証、 期日一括返済	平成 27 年 10 月 30 日

(2) 借入の理由

長期借入金の借入により、有利子負債に占める長期負債の比率を高め、金利上昇リスク及びリファイナンスリスクの軽減を図るもの。

(3) 調達する資金の額、資金用途及び支出予定時期

① 調達する資金の額

30 億円

② 調達する資金の具体的な資金用途

長期借入金のリファイナンス資金

③ 支出予定時期

平成 21 年 10 月



2. 短期借入金の借換について

(1) 借換の内容

借入先	借換金額	利率	借換予定日	借入・返済方法・担保・保証等	返済期日
中央三井信託銀行株式会社	80 億円	0.61455%	平成 21 年 10 月 30 日	無担保・無保証、 期日一括返済	平成 21 年 11 月 30 日
株式会社山梨中央銀行	10 億円	0.65727%			平成 21 年 12 月 25 日
信金中央金庫	10 億円	0.83545%			平成 22 年 1 月 29 日
株式会社群馬銀行	10 億円	0.83540%			
株式会社群馬銀行	10 億円	0.78540%			平成 22 年 4 月 30 日
株式会社鹿児島銀行	10 億円	0.83545%			
住友信託銀行株式会社	50 億円	0.94636%			
株式会社山口銀行	10 億円	0.94636%			

(2) 借入の理由

短期借入金のリファイナンス

(3) 借換する資金の額、資金用途及び支出予定時期

①借換する資金の額

合計 190 億円

②借換する資金の具体的な資金用途

短期借入金のリファイナンス資金

③支出予定時期

平成 21 年 10 月

3. 本件借入れ後の借入金等の状況

①本件後の有利子負債残高

(単位：億円)

	本件実行前	本件実行後	増減
短期借入金	2 5 5	2 5 5	0
長期借入金	2, 4 3 0	2, 4 3 0	0
(うち1年以内返済 期限到来分)	1 5 7. 5	1 2 7. 5	▲ 3 0
借入金合計	2, 6 8 5	2, 6 8 5	0
投資法人債	7 0 0	7 0 0	0
(うち1年以内償還 期限到来分)	1 0 0	1 0 0	0
有利子負債合計	3, 3 8 5	3, 3 8 5	0
長期有利子負債合計	2, 8 7 2. 5	2, 9 0 2. 5	3 0

(※ 1) 長期有利子負債には1年以内に返済(償還)期限の到来する長期借入金および投資法人債の残高は含まない。



②本件後の有利子負債比率等

	本件実行前	本件実行後	増減
有利子負債比率	46.7%	46.7%	0
長期有利子負債比率	84.9%	85.7%	0.8

(※1) 有利子負債比率の計算は便宜的に以下の計算式を用いており、有利子負債には借入金の他に投資法人債を含む。

$$\text{有利子負債比率} = \text{有利子負債} \div (\text{有利子負債} + \text{出資総額}) \times 100$$

(※2) 長期有利子負債比率 = 長期有利子負債 ÷ 有利子負債 × 100

(※3) 各比率の計算は小数点第2位を四捨五入している。

4. その他投資者が当該情報を適切に理解・判断するために必要な事項

本借入により返済等に関わるリスクに関して、平成21年9月29日に提出した有価証券報告書記載の「投資リスク」の内容に変更は生じません。

本資料は、兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会に配布しております。

以 上